

台風9号の接近に伴う対策について

令和7年7月30日

J A全農ちば 営農支援課

現在台風9号が発生しており、父島付近で、ほぼ停滞しています。気象庁の発表によりますと、8月2日～3日にかけて関東地方に接近する恐れがあります(7月30日6時時点)。8月初め頃からは速度を上げて北上をはじめるとみられますが、その後の進路の不確実性が大きい状況のため、今後の動向に注意してください。また、台風の影響により圃場の冠水・作物の損傷・高温多湿による病害の発生が予想されますので、対策の徹底をお願いします。

1 台風対策について

(1) ビニールハウスなど施設の管理

強風によってビニールハウスが損傷する場合がありますので、台風接近前に以下の点をしっかりと確認しましょう。別添の「農業用ハウスにおける台風対策について」も参考に対策をしてください。

ア. ハウスを点検し、破損箇所は補修を行う。

イ. 戸締りはしっかりと行い、出入り口の扉は強風で外れないよう点検する。

ウ. 外部と通じている部分(天窓・換気扇・出入り口など)はしっかりと固定する。

エ. 風に飛ばされたものがハウスを傷つける場合があるので、周辺の資材は片づける。

オ. 台風通過中に窓が開かないようにするため、自動開閉装置などは電源を切っておく。

カ. 台風通過後は、ハウスの損傷箇所を確認し、ハウス内が高温になるため換気を行う。

※台風通過中は危険なため、外部で無理な作業を行わない。

(2) 土壌消毒中の圃場は強風により被覆資材が飛ばされないよう、覆土・重しの確認を行いましょう。

(3) 沿岸部では塩害の恐れがあるため、通過後に散水や下記の防除と併せて十分な水を散布することで除塩をお願いいたします。

(4) 果樹(梨)では多目的防災網の押え紐を補強しましょう。また棚揺れ防止のため、ブロックや土を入れた肥料袋と棚を紐で結んでおくなどの対策を取りましょう。

(5) 病害の防除

台風による強風で作物に傷がつき、さらに台風後の多湿・高温により病害が発生しやすくなります。露地栽培では圃場の排水を早く終えるために、排水路を作り排水を促しましょう。施設栽培ではハウスを閉め切るため非常に蒸れますので、台風通過後に換気が遅れないよう注意して下さい。

実際に施設が被害にあったら…

甚大な被害が起こった場合には、農林水産省等が支援対策を講じる場合があります。

支援対策をうける場合に、**災害状況がわかるような写真などが必要**になります。

復旧にむけて、一刻も早く片づけを始めたい状況ではありますが、災害記録を残すようにお願いいたします。

2. 品目別の防除薬剤

ア. イチゴ（育苗期） 炭そ病・うどんこ病

FRAC	薬剤名	希釈倍数	使用時期	使用回数	対象病害	備考
M7. 53	フセキワイドフロアブル	1000 倍	収穫前日	4 回以内	炭そ病 うどんこ病	予防・治療△
M7	ベルコートフロアブル	1000 倍	育苗期 （定植前）	5 回以内 （苗床）		予防
M3	アントラコール顆粒水和剤	500 倍	仮植栽培期	6 回以内	炭そ病	予防
M4	オーソサイド水和剤 80	800 倍	収穫開始 14 日前	5 回以内		予防
1 1	ファンタジスタ顆粒水和剤	2000 倍	収穫前日	3 回以内		予防・治療
1. 10	ゲッター水和剤	1000 倍	収穫開始 21 日前	3 回以内		予防・治療

イ. トマト 葉：葉かび病・す：すすかび病・斑：斑点細菌病・疫：疫病

FRAC	薬剤名	希釈倍数	使用時期	使用回数	対象病害	備考
11	アミスター20 フロアブル	2000 倍	収穫前日	4 回以内	葉	予防・治療
3	トリフミン水和剤	3000 倍	収穫前日	5 回以内	葉・す	予防・治療
7. 11	シグナム WDG	2000 倍	収穫前日	2 回以内	葉・す	予防・治療
24. M1	カスミンボルドー	1000 倍	収穫前日	5 回以内	葉・斑・疫	予防・治療
40. M5	プロポーズ顆粒水和剤	1000～1500 倍	収穫前日	3 回以内	葉・疫	予防・治療

ウ. キュウリ 褐斑病

FRAC	薬剤名	希釈倍数	使用時期	使用回数	備考
M7	ベルコートフロアブル	2000 倍	収穫前日	7 回以内	予防
9	フルピカフロアブル	2000～3000 倍	収穫前日	4 回以内	予防
11	アミスター20 フロアブル	2000 倍	収穫前日	4 回以内	予防・治療
1. 10	ゲッター水和剤	1500 倍	収穫前日	5 回以内	予防・治療

エ. ネギ 白：白絹病 軟：軟腐病 黒：黒斑病

FRAC	薬剤名	希釈倍数	使用時期	使用回数 ※	対象 病害	備考
7	アフエットフロアブル	2000 倍	収穫前日	2 回以内	白・黒	予防
11	メジャーフロアブル	2000 倍	収穫前日	3 回以内		予防・治療
24. M1	カスミンボルドー※	1000 倍	収穫 14 日前	2 回以内	軟	予防・治療
24. 31	カセット水和剤※	1000 倍	収穫 14 日前	2 回以内		予防・治療
31	スターナ水和剤※	2000 倍	収穫 7 日前	3 回以内		予防・治療
31. M1	ナレート水和剤※	1000 倍	収穫 14 日前	3 回以内		予防・治療

※カスミンとカセットは同成分（カスガマイシン）を含むため合わせて2回まで、カセット・ナレート・スターナは同成分（オキシリニック酸）を含むため合わせて3回までのため、それぞれ総使用回数に注意。

オ. ナシ 炭そ病

FRAC	薬剤名	希釈倍数	使用時期	使用回数	備考
11	ストロビードライフロアブル	2000 倍	収穫前日	3 回以内	予防・治療
7・11	ナリアWDG	2000 倍	収穫前日	3 回以内	予防・治療

※農薬使用時は最新の登録内容を確認し、登録内容を守って使用してください。

3. 園芸作物施肥（樹勢回復）

被害により樹勢の低下が見られた場合は、葉面散布を活用して樹勢の回復に努めましょう。

液肥例：ポリコープ2号 4－ 6－ 6＋微量要素、400～600倍
 キャッチアップ2号 15－30－15＋微量要素、500倍
 野菜の達人 15－14－10、1000倍

●使用時のポイント

- ・5～7日おきに2～3回程度、継続的に散布しましょう。
- ・高濃度の散布は避け、気温の低い午前中に散布しましょう。特に高温（25度以上）、著しく樹勢が低下している場合は濃度を薄くしましょう。
- ・新葉を中心に葉の裏にかかるよう散布しましょう。